

なくてはならないもの

逗子開成中学校

二年 加藤 權

台風や集中豪雨などの水災害によって、日本だけではなく世界中の様々な地域でも大雨による被害が起きていたニュースを見たことがあります。僕が住んでいる神奈川県でも、これまでに経験のしたことのないような大雨が降り続き、広い範囲での被害が出ていました。テレビでその様子を見たり、家の中にも聞こえる激しい雨や風の音に、小学生だった僕はとても怖く、不安な気持ちになったのを覚えています。

雨が降らなければ水不足が起きて困るし、逆に降りすぎれば洪水になり、人々の生活に影響を及ぼしてしまう。でも、洪水の水はそのまま生活に使えないというのも不思議です。

そんな時に僕が知ったのが「ダム」の働きです。ダム

はただ水を貯めておく場所だと思っていたけれど、実は、洪水を防ぐために水を一時的にためて、少しずつ流すようにコントロールしてくれていると聞きました。また、雨が少ない時には、その蓄えた水を使って、水不足にならないようにしてくれているのです。ダムは僕たちの生活の安心を支えてくれる、大切な存在なのだと思います。

普段、蛇口をひねれば水が出て、手を洗ったり、お風呂に入ったり、料理にも使ったり、当たり前のように使っています。そんな便利な生活ができるのも、昔の人たちが知恵をしばって水を使いやすくしてくれたお陰なのだ、改めて気付かされました。水について深く考えることがありませんでしたが、感謝しなくてはなりません。僕の家は海のそばにありますが、近くに川も流れています。この川も定期的に清掃されているようで、人々が水を大切にしていることが伝わってきます。

昔はきれいで澄んでいた川も、便利な生活の中で少しずつ汚れ壊されていっています。

人々の生活を支えてきた水が人間の手によって壊されていくのは、とても残念なことです。人の意識を変える

ことで、元の自然に戻すことは出来るのでしょうか。

洪水が起きるのも、人間が便利さを求めて自然を変えてきたことが原因の一つだと知りました。実際に、住宅が増えて、緑や木、公園が少なくなっているようにも感じます。これに加えて、排気ガスや地球温暖化も関係しているのかもしれませんが。水と人間と自然の関係は、とても複雑で難しい問題です。頭では理解できても、「じゃあ自分に何が出来るのか」と考えると、すぐには答えが出せません。でも、まずは「水を大切にすること」

「水を汚さないこと」から始めていくのが、今の僕に出来ることだと思います。

昔の人たちが作ってくれた暮らしやすい社会を、今度は僕たちが守っていく時代なのかもしれません。水と共に生きる未来のために、自分に出来ることを探していきたいです。